

日本渡航医学会
トラベルクリニック診療ガイドンス

日本渡航医学会
トラベルクリニック部会
2020年1月

目次

I 開設準備

1. スタッフへの教育
2. 診療内容の決定
3. 設 備
4. 機 材
5. ワクチン管理
6. 医療広告について

II 診 療

1. 渡航前診療
2. 予防接種
3. 予防内服薬
4. 健康診断
5. 英文書類作成
6. 帰国後診察
7. 渡航先の医療情報提供
8. 海外渡航者向けセミナー開催
9. トラベルヘルスグッズ紹介

III 渡航医学情報源

I 開設準備

1. 医療スタッフへの教育・トレーニング

- 1) 日本渡航医学会医療職教育：学術集会、各種講習会
- 2) その他

2. 診療内容

- 1) 渡航前診療：母子手帳などによる予防接種歴確認含む（Ⅱ診療の項参照）
- 2) 渡航先の医療情報提供（昆虫忌避剤の使用法、動物咬傷後の初期対応含む）
- 3) 予防接種：国内承認・未承認ワクチン（接種記録の作成・交付）
- 4) 予防内服薬：マラリア、高山病予防薬など
- 5) 健康診断
 - ・赴任前健診
 - ・ビザ取得や留学に必要な健診
 - ・ダイバー検診
 - ・登山検診
- 6) 英文書類作成：診療情報提供書、診断書、ビザ用書類、留学用書類など
- 7) 帰国後診察：輸入感染症などの診断と治療、狂犬病曝露後接種、減圧症治療
- 8) 海外渡航者向けセミナー開催
- 9) トラベルヘルスグッズ紹介：昆虫忌避剤、ORS（経口補水塩）、蚊帳、ダニスティックなど

3. 設備

- 1) 診察室、相談室
 - プライバシーに配慮した環境（個室）
 - ウェブ閲覧可能なパソコン設置
- 2) 処置室
 - 被接種者のためのリクライニング機構付きの椅子あるいはベッドの設置
 - 採血台などの設置
- 3) 待合室
 - 情報誌とウェブ閲覧環境の提供
 - トラベルヘルスグッズ展示
- 4) 薬品庫
 - 施錠付き
 - 温度記録可能な冷蔵庫（次項4. 機材を参照）
- 5) その他
 - 健診室：視力、聴力、血圧測定など実施

4. 機材

- 1) インターネット設備：院内 Wi-Fi 環境の整備
- 2) 渡航相談用の資料・図表・市販の地域別感染症情報のソフト
(Tropimed®, TRAVAX®など)
- 3) ワクチン接種記録帳（被接種者への交付用）、記録帳用のスタンプ類
- 4) ワクチン管理用の温度記録付き冷蔵庫（ワクチン接種用の処置室）
*自動霜取り装置付き冷凍冷蔵庫は、冷凍庫の霜取りの際に冷蔵庫内温度が管理温度を超え、20℃前後まで上昇するため、こうした機能付きのものを避ける。
- 5) グローブ、擦式アルコール製剤
- 6) 感染性廃棄物ボックス、シャープセーフ
- 7) 救急カート（蘇生医薬品一式）
極めて稀ながら、ワクチン接種後 30 分以内にアナフィラキシーショックを起こすことがあるため、アドレナリン（エピネフリン）、ステロイドなどの薬剤および気道確保の準備をしておくとともに、ワクチン接種後は少なくとも 15 分間程度は医療スタッフの目の届く範囲内に待機してもらうことが大切である。
- 8) 採血用注射針、各種シリンジ、各種血液検体用採血管
- 9) X 線撮影装置、心電図計
- 10) 呼吸機能検査（登山、ダイバー検診）
- 11) 常用提供用テレビモニター、渡航情報の DVD など
- 12) 昆虫忌避剤（虫よけスプレー）や蚊帳、救急キットなどの見本商品
- 13) 渡航医学関連の書籍

5. ワクチン管理

- 1) ワクチンの保存
 - 自記温度計を装備した冷蔵庫を使用し、2～8℃で保存
 - 温度記録は 2 年間保存（ワクチン等生物学的製剤の取扱について；昭和 42 年 11 月 4 日薬発第 792 号 厚生省薬務局長通知）
- 2) ワクチンの入荷元
 - 大手医薬品卸問屋
 - ワクチン専門卸業者
 - 輸入ワクチン（未承認ワクチン）代行業者
- 3) 遺伝子組換え生ワクチンの取扱について
 - わが国においては、「遺伝子組換え生物等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（通称：カルタヘナ法）」の規定するところにより、遺伝子組換え生物等を用いる際には規制措置が講じられる。国内承認ワクチンでこれに該当するものはないが、外国で流通するものの中には、カルタヘナ法に抵触するものがある。
 - 遺伝子組換え生ワクチンを輸入して使用する際には、厚生労働省へ薬監証明を提出し、カルタヘナ法に則って厚生労働大臣の承認を受ける必要がある。この承認を受けずして人に接種した場合、罰則を受けることになる。

- 2019年12月現在、Dengvaxia（デング）、Imojev（日本脳炎）、rVSV-ZEBOV（黄熱）などが該当する。
- 農林水産省のウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/about/>

6. 医療広告について

- 広告は、適宜以下のサイトを参照して作成する。

1) “政策について” 医療法における病院等の広告規制について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/kokokukisei/index.html

2) “政策について” 「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針（医療広告ガイドライン）に関するQ&Aについて」の改訂について（平成30年10月24日）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000205166_00004.html

II 診療

1. 渡航前診療

1) 問診

①渡航先

- 黄熱ワクチンの要否：検疫所とも適宜連絡・確認
- 衛生状態、感染症情報
- 滞在期間、滞在地域（都市部か郊外）、宿泊施設状況
- 現地の医療状況
- 出発までの期間（出国日を確認）
- 渡航先での目的、活動内容、活動時間帯
- 希望するワクチン：会社からの指定の有無や予算など

②渡航者の健康状態・診察所見

- 既往歴、慢性疾患の有無
 - 糖尿病、免疫不全、アレルギーなど。予防接種不適合者（予防接種法規則第2条）、予防接種要注意者（定期予防接種実施要領第1の6）を確認する。内服状況や薬手帳の内容も確認する。
- ワクチン接種歴
 - 母子手帳やワクチン接種記録帳・証明書などの確認し、書類などあればコピーを取り保管する。
- アレルギー歴の有無
- ワクチン接種後の副反応の既往
- 渡航歴

2) 診察所見

- 診察所見、バイタルサイン（血圧と体温は必須）

2. 予防接種

1) 説明とインフォームドコンセント

- ワクチンの説明
- ワクチン接種についてのインフォームドコンセント
- 輸入ワクチン（未承認ワクチン）についてのインフォームドコンセントおよび補償制度
- 海外で行われている接種法について（特に狂犬病の WHO 方式）

2) 接種：接種時の注意、同時接種

3) 副反応の監視

- 接種後 30 分以内の経過観察
- 少なくとも接種後 1 週間程度の体調変化の有無について注意喚起
- 何か体調不良がある際には速やかに接種医療機関に連絡
- ワクチンの種類（一般名と商品名）、接種日、ロット番号、接種部位、接種量、投与方法を診療録に記載

4) ワクチン接種記録帳（日本語・英語併記）の発行

- ワクチン名（商品名）、メーカー名、ロット番号、接種部位、投与量
- 狂犬病ワクチンの場合、そのタイプについての記載推奨
- 接種実施医療機関名、接種医師名、医師直筆サイン
- 接種年月日（英式：mm/dd/yyyy、米式：dd/mm/yyyy）
- 有効期間、次回接種時期の目安
- 国産メーカー名や医療機関名に「Japan」を記載
- 当該施設で発行した証明書等のコピー

5) 小児の対応について

- 原則的に定期接種を済ませてから渡航するよう指導する。
- 渡航延期が困難な場合は渡航先でのワクチン接種のキャッチアップを検討する。
- 乳幼児期のワクチン接種は公費負担で受けられることが多いので、定期接種している医療機関での実施が適切である。
- 小児科医あるいは小児診療の経験を有する医師による対応が望ましい。

6) 予防薬の相談及び処方

- マラリア予防薬（スタンバイ治療も含む）
- 高山病予防薬
- その他、自費処方

3. 健康診断

- 赴任前健診、現地雇用のための健診
- ビザ取得や留学に必要な健診
- ダイバー検診
- 登山検診

4. 英文診断書の発行

- ビザ取得のための診断書
- 留学時に要求される診断書
- 海外で就職する際に要求される診断書
- 現在治療中の病状についての医療情報提供書

5. 帰国後の診療

- トラベルクリニックの規模によっては緊急性のある疾患の受入れの可否について慎重に判断（特にマラリアなど）
- 感染症指定医療機関等への紹介：輸入感染症や緊急性の高い感染症が疑われる場合
- 近隣医療機関との連携・関係の構築
- 輸入感染症などの診断と治療、狂犬病暴露後接種、減圧症治療

7. 渡航先の医療情報提供

8. 海外渡航者向けセミナー開催

9. トラベルヘルスグッズ紹介：昆虫忌避剤、ORS（経口補水塩）、蚊帳、ダニスティックなど

III 渡航医学情報源

1) 渡航医学

- Explore Travel Health with the CDC Yellow Book
(<https://wwwnc.cdc.gov/travel/page/yellowbook-home>)
- WHO International Travel and Health (<http://www.who.int/ith/en/>)
- fit for travel (<https://www.fitfortravel.nhs.uk/home>)

2) 国別情報

- 外務省在外公館医務官情報 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>)
- 厚生労働省検疫所 FORTH 海外で健康に過ごすために (<http://www.forth.go.jp/>)
- 外務省海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)
- CDC Travelers' Health (<https://wwwnc.cdc.gov/travel/destinations/list>)
- WHO Countries (<http://www.who.int/countries/en/>)

3) 黄熱予防接種要求国

- WHO Country List (<https://www.who.int/ith/2016-ith-annex1.pdf?ua=1>)
- 厚生労働省検疫所 FORTH (<https://www.forth.go.jp/useful/yellowfever.html#top>)

4) 感染症情報

- ProMED (<http://www.promedmail.org/pls/otn/f?p=2400:1000:>)
- CDC Current Outbreak List (<https://www.cdc.gov/outbreaks/index.html>)

5) 海外医療機関情報

- 外務省 世界の医療事情 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>)

6) 米国就学要求予防接種要求

- National Network for Immunization Information : NNii
(<http://www.immunizationinfo.org/vaccines/state-requirements>)

7) 予防接種関連

- 予防接種に関する Q&A (<http://www.wakutin.or.jp/medical/index.html>)
- 感染症情報センター (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)

8) 有償サイト

- tropimed® (<http://www.tropimed.com/>)
- travax® (<http://www.shoreland.com/>)

<参考図書>

1. CDC Yellow Book 2020: Health Information for International Travel, Oxford Univ. Press, 2019/6/11
2. International travel and health 2018, WHO
3. Travel Medicine 4th edition, Elsevier, 2018/12/27
4. ISTM Travel Medicine Teaching Slides
5. 海外渡航者のためのワクチンガイドライン 2010(日本渡航医学会編), 協和企画, 2011/11
6. 予防接種に関する Q&A 集 2018 ワクチン産業協会
7. 予防接種ガイドライン
8. 予防接種の手びき 2018-2019 年度版, 近代出版, 2018/6

編集委員

責任者 三島 伸介
大越 裕文
宮城 啓
渡邊 浩
菊池 均
高田 清式
大曲 貴夫
古賀 才博
外部委員 中谷 逸作
黒田 友顯